

漁海況情報

平成 29 年 1 月 23 日 第 18 号 (通巻 599 号)

山口県水産研究センター 外海研究部 〒759-4106 長門市仙崎 2861-3

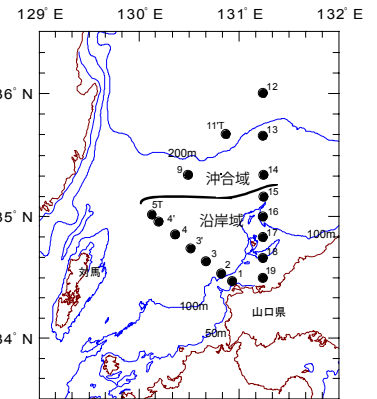
TEL : 0837-26-0711 FAX : 0837-26-1042 Mail : a16402@pref.yamaguchi.lg.jp

【海鳴りネットワーク】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16500/uminari/uminari-top.html>

【かいせいによる海洋観測】

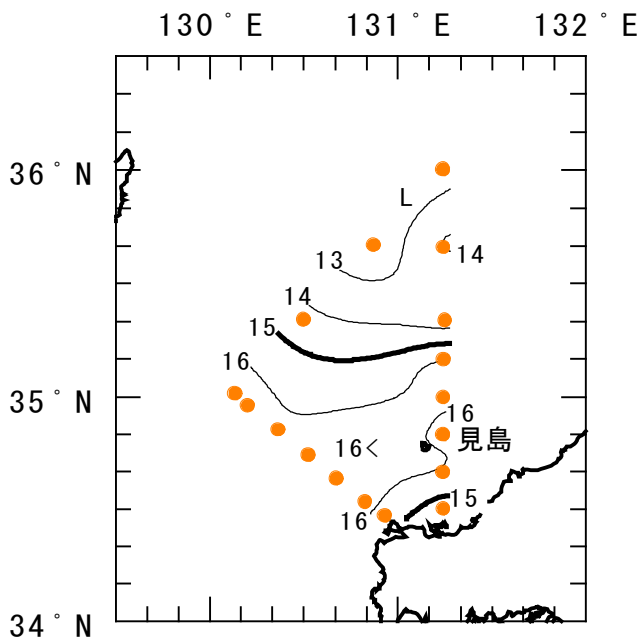
1月18～19日に漁業調査船「かいせい」で海洋観測を実施しました。今月は時化のため、海洋観測の実施が遅くなりました。

今月の水温は、沿岸域で「平年並み」、沖合域で「甚だ低め～かなり低め」でした。平年とは30年間(1981～2010年)の平均値のことです



海洋観測点

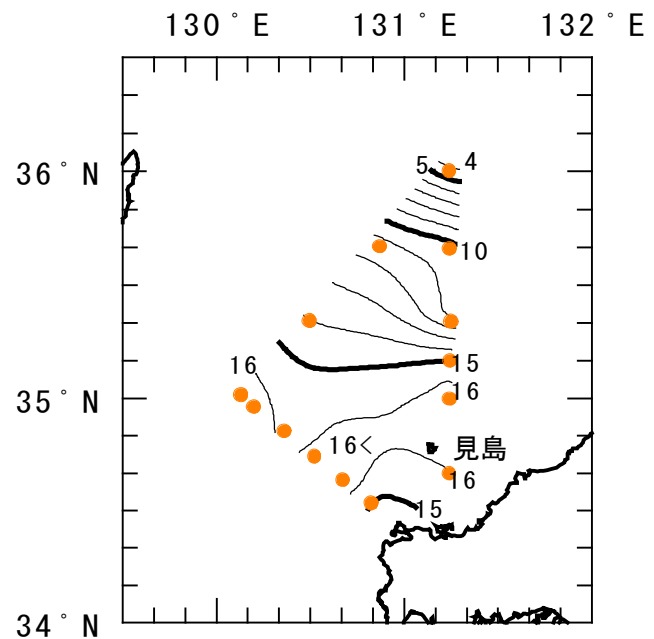
【50m 深水温分布】



沖合域では前月の観測(16～20℃)から約4℃下降して、12～16℃となり「かなり低め」となりました。

沿岸域では14～16℃台を示し「平年並み」でした。見島周辺でも前月よりも約4℃下がり15～16℃台でした。

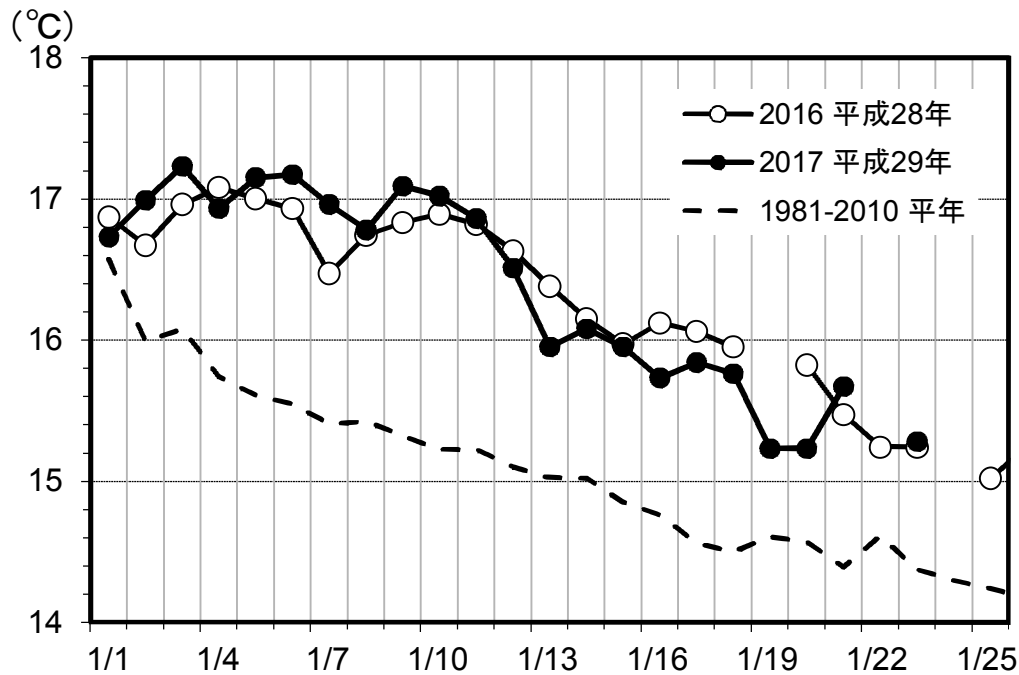
【100m 深水温分布】



沖合の冷水(10℃以下の領域)は、35°40'N付近まで南下しています。

沖合域では3～16℃台で「甚だ低め」、沿岸域では14～16℃台を示し「平年並み」でした。見島周辺では15～16℃台でした。

【萩-見島フェリー観測の表層水温】



1月に入ってから萩沖の表層水温は、3～5日の周期で変動しながら徐々に下降しています。当期は、平年に比べ高め(+0.2～+1.6°C)で推移しました。1月23日の水温は15.3°Cで、平年に比べ0.9°C高めでした。

福岡管区气象台1月29日発表の九州北部地方(山口県含む)の1ヶ月予報によると、向こう1か月(1/21～2/20)の気温は、低め～平年並みで経過する確率が高いので、現在高め傾向の萩沖表層水温も、今後は平年値に収れんしていくと考えられます。

【他県の情報】

長崎県 — 平成29年1月12～18日の漁模様 —

<中小型まき網>

月夜間とシケで出漁日数が少ない。

西彼地区：マアジなどを1日1統当たり20トンの水揚げで、前週の59%（前年を上回った）。

北松南部地区：マサバなどを1日1統当たり7トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

<イカ釣り>

月夜間とシケで出漁日数が少ない。

対馬東岸地区：ケンサキイカを1日1統当たり1kgの水揚げで、前週の10%（前年を下回った）。スルメイカは1日1統当たり8kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）

*長崎県漁海況週報2974号から抜粋